



池田町 議会だより

No.103

平成26年7月23日発行

●発行／池田町議会

●企画・編集／議会報編集特別委員会

●長野県北安曇郡池田町大字池田3203-6(池田町役場内) ●TEL.0261-62-3131 ●FAX.0261-62-9529

●E-mail gikai@town.ikeda.nagano.jp ●http://www.ikedamachi.net/gikaihou



池田小学校運動会



CONTENTS (主な内容)

6月定例会

- 6月定例会 …………… 2
- 本会議での質問と答弁 …………… 3
- 予算決算特別委員会 …………… 3~4
- 常任委員会 …………… 5

ここが聞きたい

- 一般質問 …………… 6~9
- 議会傍聴記・池田町に越してきて……10

6月
定例会

消防団拠点施設整備事業により 可搬車両8台、可搬ポンプ5台更新

6月定例会は6月11日から20日までの日程で開かれた。議案2件、承認8件が上程され原案通り可決された。陳情は3件が審議され、採択2件、不採択1件であった。又発議案件は3件で全て採択された。

平成26年度一般会計補正予算の主な案件は、緊急防災・減災事業債による消防団拠点施設整備事業で、可搬車両8台、可搬ポンプ5台の更新である。又教育費では、がんばる地域交付金による池田小学校ランドセル収納設備費である。



新会場(安曇総合病院南駐車場)でのポンプ操法大会

6月議会の主な審査結果

【専決処分事項】

- 税条例の一部を改正する条例 【承認】
- 国民健康保険税条例の一部を改正する条例 【承認】
- 平成25年度一般会計補正予算 【承認】
219千円追加補正し、歳入歳出総額4,816,410千円とするものである。
内容は、事業確定による減額補正が主であり、基金積立金等経費として179,520千円計上。
- 平成25年度 国民健康保険特別会計補正予算 【承認】
21,045千円追加し歳入歳出総額を1,173,620千円とするものである。
主な補正は、一般被保険者療養給付費25,796千円増、出産育児一時金1,368千円減。

【議案】

- 町営バス設置条例の一部改正について 【可決】
町営バスの運行に関し、高校生及び75歳以上の高齢者に対し定期券の販売を行うと共に、バス停の名称等の変更(定期券は町が半額補助)。
- 平成26年度一般会計補正予算 【可決】
179,125千円追加補正し、歳入歳出総額を4,141,125千円とするものである。
主な補正は、経営体育成支援事業63,413千円、農業用公共施設改修事業17,820千円。
地域おこし協力隊活動事業5,386千円、住宅等管理一般経費7,700千円、消防団拠点施設整備事業61,254千円、学校施設整備事業7,603千円。

本会議での質問と 答弁をまとめました

平成25年度 一般会計補正予算

問 社協職員の出向料の減額は何か。また、福祉医療給付費が24年度より2千万円多いのはなぜか。

答 社協職員の手当ての減額である。福祉医療費の増額は、対象年齢が、25年度から15歳から18歳まで拡大になった。

問 出産祝い金の減額は、出産が減ったのか。第2子、第3子が減ったのか。

答 25年度の出産は、第1子が19人、第2子が24人、第3子以上が15人合計58人で、24年度より2人増えた。減額は、予算に対しての減額である。

問 大峰高原用地借上げ料の減は、どこか。

答 日本デジタル保養施設の北側に水道管があり、その区域を森氏が売ったので減額になった。

問 元気なまちづくり事業補助金の減額は、事業

が減ったのか。また事業の内容は。

答 当初、550万円計上した。最終的に14件で町づくり事業が4件、建設事業が10件である。町づくり事業は、看板や遊歩道の整備、建設事業は舗装、排水整備などである。

平成26年度 一般会計補正予算

問 地域おこし協力隊の募集状況は。町民にどのように広報するのか。

答 現在募集しているが、まだない。人が決まってから広報する。

問 子育て支援費の弁護士報酬の増額だが、どのような問題が起こっているのか。

答 裁判になりかねない事案があり、弁護士に支援をおく。

問 雪害の被害額

はいくらか。

答 総額約7千800万円である。建て替えは、国、県、町で90%補助がある。撤去は全額補助がある。

問 マイマイガの駆除の補正は考えているか。

答 町は、駆除費の2分の1、上限1万円まで補助する。アメリカシロヒトリの当初予算があるが足りなければ9月補正で考える。

問 山での駆除はするか。

答 有人へりで薬剤散布すると他の虫も死ぬ。マイマイガは、2、3年でウイルス感染により自然に収まるとされ、山での駆除作業はしない。



マイマイガ

予算決算特別委員会

委員会審査報告

●意見、要望

【総務課】

- ・消防団の可搬車両8台、可搬ポンプ5台の更新により一層の防火・防災体制を期待する。

【福祉課】

- ・認知症地域支援推進員等設置事業により、早期発見、予防など、認知症対策の充実を図りたい。
- ・若年層の「がん検診受診率」が低い傾向にある。町民に周知徹底を図り、受診率向上に努めらる。

【振興課】

- ・豪雪による農業用ハウス被害について、申請等、手続きの補助及びやる気をサポートするよう支援をお願いしたい。

【教育委員会】

- ・地域おこし隊の活動を通じて、特産物開発や未就学児へのスポーツ振興を期待する。
- ・地域少子化対策、強化事業により、イベント等複数回開催するなど、少子化対策を町を挙げて推進されたい。

●質疑の内容

問 今回の車両8台、ポンプ5台の更新はどの地域か。

答 8台の車両は堀の内、正科、相道寺、広津、三郷、花見、中之郷、内鎌。5台のポンプは相道寺、広津、花見、三郷、中之郷である。

問 上原商店跡地利用の件であるが、「おひさまの家」の駐車場が狭い。広げられるか。また産廃が出てきたら補償するのか。

答 「おひさまの家」以外



スポーツ風景

は売却の予定。産廃の補償はしない。駐車場の拡大は検討する。

問 幼年消防隊の楽器と衣装を補充するが足りるか。出初式以外で演奏する時があるか。

答 バトン、フラッグ含め足りている。年末の発表会、安曇養護学校の交流会等で演奏している。

問 認知症支援事業の内容と配置人数は。

答 各関係機関が連携し、認知症患者や家族が地域で暮し易い環境づくりの事業である。社会福祉士、介護福祉士の2名である。患者増加傾向にあるが、不明になった人はいない。

問 検診無料クーポン券の配布対象者は何人か。未実施者が多いが対策は、また継続するか。

答 対象者の数字はない。未実施者は子宮頸がんが697人、乳がんは752人。平成21年度から5歳刻みで実施。子宮頸がんは21歳から41歳まで、乳がんは41歳から61歳まで。今回は平成21年から24年までの未実施者対象と21歳の子宮頸がんと41歳の乳がんの対象者である。平成27年は、平成25年の未実施者を予定。それ以降方針は出ていない。広報、無線等で呼びかける。年度末には文書で呼び掛ける。

問 検診無料クーポン券はどのようなものか。他の地域でも受診できるか。事業の目標は。

答 千円札大。無料で検診が出来る。県の医師会と契約しており、医師が了承すればどこでも検診できる。実績に応じて支払う。現在の実績は5年間で30%～35%。40%～45%に上げたい。

問 池田町に認知症の人は何人いるか。若年認知症の人はいるか。認知症認定時に家族以外の人にも聞き取り実態の調査をするのか。予算は国からか。

答 要介護1～5までの認定者はおよそ500人。内およそ70%が認知症認定者。若年認知症の人はゼロではない。アルツハイマー系の人は病気の期間が長い。生活に支障がでて介護を必要とする期間は最後の3分の1の期間である。症状が開始したときの対策が課題である。認定は保険者の仕事であり、関係者全てから生活実態の聞き取り調査をする。包括支援センターの職員も参加する時がある。今年から広域の保険者からの交付金となる。

問 社協と福祉課がしつくりいっていないのではないかとという声がある。体制を変更する考えはあるか。

答 事業は問題なく遂行されている。変える考えはない。



検診無料クーポン券

はない。

問 総合福祉センター運営委員会で事務局長はで事務局長の発言は町民を鼠に例えていた。おかしいのではないか。

答 問題はあるが、行政の問題ではない。

問 社協の問題は町の福祉の問題であるから、議会で取り上げないのはおかしい。

答 社協の問題は理事会、評議員会で取り上げてほしい。

問 農業用公共施設改修

事業、学校施設整備事業の工事設計委託料が工事費の10%である。工事実態から見て高いのではないか。

問 都会の人に決まっている。地域少子化対策事業、結婚推進事業はどのように進めるか。

答 国の設計、管理指針に基づいている。適正な額となるよう業者と相談する。

答 松本大学と連携し、新池田学問所の未来塾の事業として行う。

●地域おこし協力隊活動事業について

問 特産品開発について町の考えはあるか。

答 特にない。若い感覚で開発してほしい。

問 「ハーブの里づくり」を前に進められるか。

答 ハーブについては研究したい。

問 月16万6千円の手当で都会から2名が呼べるか。

答 手当は、住居、自動車、ガソリンは支給である。少ないとは言えない。

問 都会以外の近隣の方は応募できないか。

答 国の指定で



園児の鼓笛隊

*ひとくちメモ
一口メモ

【専決事項】

議会閉会中に町村長が議会に代わって意思決定を行うこと。

【検診無料クーポン券】

働く世代の女性支援事業で、平成26年度の対象者は、子宮頸がんが21歳、乳がん（マンモグラフィ）が41歳。無料検診ができる制度の券。町から対象者全員に発送。但し、今年度限り、21年～24年度中にクーポン券を配布された方で検診を受けていない方も対象となる。

【地域おこし協力隊】

三大都市圏内から地方に移り住み、地域の活性化に従事してもらう制度。

町営バス定期券発行 高校生と75歳以上対象 料金は半額 総務福祉委員会

◎町営バス設置条例の一部改正について

審査結果 可決

問 町営バス定期券発行についての明科高校へのPR方法は、定期券発行は月一回となっているが見直しの時期は。

答 明科高校にて打ち合わせを行い、保護者のリストを頂いたので通知する。池田工業高校も同じ対応をする。定期券発行の改善、課題については年一回開催される地域公共交通会議で対応する。

問 定期券発行の期待が大きい。半額となること事だが町の負担はどの位になるのか。

答 今年8月からなので60万円位、来年は91万円の予定。

問 安曇野線の生徒も対象となるのか。

答 町営バスの全線が対象となる。

◎陳情 松本支部における労働審判の開設について

審査結果 採択

意見 東北信より中南信の相談件数が多い、松本支部で労働審判が出来る事が必要。賛成

意見 長野県庁の所在地が北に偏っている。松本支部で労働審判が出来るようにと考えていた。賛成

◎子ども・障がい者等の医療窓口無料化を求める意見書提出についての陳情

審査結果 不採択

意見 子どもの対象年齢は何歳か。

行政意見 この事業は地方単独事業なので各自治体によって違う。この陳情は長野県知事宛なので、小学校3年生までと考えられる。池田町の場合は18歳までとなっている。意見 県下統一された上で

の要求なら理解出来る

が、事務が煩雑になるのではないか。

行政意見 池田町の場合、窓口無料化になれば、2本立てとなる。小学校3年までは、窓口負担は無くなり、4年生以上は従来どりの負担となる。

意見 メリットは何か。

行政意見 対象者は窓口負担がなくなるデメリットとして国は医療費が14%増加すると試算しており、国保の国庫負担金（財政調整交付金）を最大限15・73%削減すると

言っている。削減されている自治体がある。町の25年度の財政調整交付金は5千292万円であった。

意見 窓口無料化となれば、子育てにとつて良い事だから賛成。

意見 池田町は18歳まで無料化なのでこれを母体にしてしっかり進めていけば良い。要求は必要だがあえて出す必要性はない。

反対。

町としての内容を充実して行った方がいい。反対。

行政意見 長野県はこの件で国に対して、国がやるべき事業であり、新たな国の助成制度の設立と国保の国庫負担金の削減をやめるよう、この5月27日に県の主要6団体で要求をした。

意見 国庫負担金の削減をしない要求が先ではないか。

意見 県が動いているので、継続でどうか。

6月議会の開

視察 北アルプス広域消防本部 高機能消防指令センター

振興文教委員会

◎雇用の安定を求める意見書の採択を求める陳情書

審査結果 採択

会中の12日、広域消防本部にある高機能消防指令センターを視察しました。



広域消防本部視察

本部の2階の1室に消防救急デジタル無線システムが完備されています。小

谷の立山基地局と大町の鷹狩山基地局から受信

発信され、大北全体（東西24km、南北59km）を網羅したシステムになっています。

部屋の壁や机の上には機器が並び、一目で大北の消防車や救急車の状況がわかるようになっていきます。通報を受けると自動的に位置を地図で示す

ようになっていきます。基地局に高所カメラが設置してあり、すぐに場所をカメラで捉えることができます。

事故、災害などは無いほうがよいのですが、備えを充実することで、より安全な生活が保障されると思われました。

ここが聞きたい 議員7名が一般質問



小学校の生徒数が減少する。
学校のあり方の検討を

穂 聖章 議員

〈教育委員長〉統合も含め時間をかけて検討する

Q コミ減量に対する決意は

答 穂高広域で一人当たりの可燃ごみ排出量ワースト1からの脱却として、剪定枝チップ化事業、マイバッグ配布、生

問 子どもの頃からの環境教育が大事である。保育園、小学校に導入を。

答 保育園では分別用のごみ箱を置き、意識は

定着している。食育を通して、大切さを教え、食べ残しを少なくし、生ゴミ処理機の導入により生ゴミの削減に努めている。小学校では児童に、好き嫌いをなくすこと、農家や給食センターへの感謝の気持ちを持つ、食べ残しを減らす工夫の

イデア募集など全校で取り組んでいる。ゴミの分別、ごみ拾い週間を

設け、紙ごみなど資源として大切にすることなども行っている。

問 人口減少への対応を問う

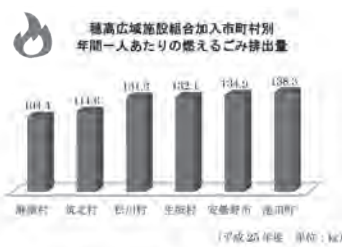
答 第5次総合計画で目標人口1万1千人としたが、推計では1万人を割り込む。対策として、魅力ある町づくりを

推進、人口増対策、産業創出など取り組む。施策として民間開発も含め、若者住宅地の造成、

企業誘致の推進、観光交流人口の増、眺望と田園風景を保全、継承する適正な土地利用など「住みたい町、訪れたい町」を目指す。

問 働く場の確保は。

答 新規の企業誘致は難しい。当町は食品系が強い。チャンスは逃さないようにしたい。既存企業への支援は積極的に



業への支援は積極的に

行っている。

問 住環境の整備は。

答 土地開発公社と民間業者により、5年で100区画の宅地造成を目指す。

問 子育て環境の充実

答 保育園では延長保育、バス運行、英語指導事業など。福祉課では、相談、育児、養育支援、家庭訪問事業など。住民課では出産祝い金、教育課関係では就学援助、私学助成事業など様々な支援を行っている。

問 小学校の在り方は。

答 5～6年後には2校とも各学年、30人前後の1学級となる。統合も含め、時間をかけ検討する。



クラフトパーク全体の将来について

矢口 新平 議員

〈町長〉指定管理の方向で考えている

問 池田工業高校について

答 町長は、池田町にある県立高校、池工についてどう考えているか。

答 池田町は、教育環境は他地区に比べ大変恵まれた地区である。池田町に池工があるのは宝である。

問 少子化の波が、高校改革にも押し寄せてきている。白馬高校は、

来年定数不足だと分校との事。次に来るのは、南農、池工、穂高商の統合だと思いが池田町として、町独自の支援ができないか。

答 今年は高瀬中より、16名が池工に入学し6名が池工の野球部に入学した。将来が楽しみです。

私は入学式、卒業式に呼ばれる、その都度池田町が応援団であることを忘れないでほしいと言っている。

問 池田保育園と会染

答 池田保育園と会染は、ほぼ同じ頃に建築され、一方は新築、他方は改築というのは理解できないが。

問 今後、検討委員会を立ち上げ、方向性を

出していく。耐震補強は、保護者側から早期の実施を求める要望があり、採択された。7月の臨時議会において、予算化をお願いすることにしました。新築、改築またはコミュニティの要素や防災面については、検討委員会ですら分検討して行く。

問 クラフトパーク全体について

毎年多額の予算をつぎ込んで、維持管理をしているが、20年を迎えた施設についてどう考えるか、又、今年には奥田郁太郎展に多額の予算を投入しているが、成果はどうか。昨年より来場者が700名程少ないが、成功と言えるのか。



クラフトパーク

答 クラフトパーク全体について、来年は、指定管理などを念頭に、8月くらいまでに方向性を出したい。町内の学校などと連携をして、クラフトパークに、子供達から大人まで町民全体で、親しみと誇りを持てるよう最善を尽くす。



町の企業が参加しやすい入札制度を

矢口 稔 議員

〈町長〉地元企業を優先して発注していきたい

問 国は景気対策を行っているが、地方にはまだ届いていない。池田町の商業事業所数は昭和63年には150事業所だったが、今では半分近くに減少してきている。

答 ここ1、2年の指名競争入札状況を見ると、町内でも対応できる案件を大きな都市の企業を指名参加させている傾向にある。地元の企業は様々な所で町に社会貢献をしている。その役割をどのように評価し、入札制度に反映させているのか。

答 業者選定において、事業規模・事業内容を総合的に勘案して、町内企業で受注できるものは地元企業へ発注している。今後もこの方針を基本としていく。

問 現在の制度も、公平性、透明性および競争性を確保しつつ、地域経済への効果や地元企業育成に重点を置いている。貴重な税金を大事に使う事も大切なことから、地元企業の競争力、技術力の向上に期待する。移住しやすい町づくりと空き家対策を

問 人口減少時代を見据え、移住やIターン希望者が短期滞在できる「ゲストハウス」など提供できないか。

答 「住みたいが、家をいきなり購入するのは不安、試しに住んでみたい。」という方もいる。現在は、ゲストハウスとして借



早急な移住、空き家対策が望まれる

り上げる空き家は少ない。どうしてもという方には空いている教職員住宅を貸し出すことも可能である。

問 倒壊の危険や、大発生している「マイマイガ」や害虫の発生など、空き家周辺からの苦情も多い。空き家対策条例を制定できないか。

答 他市町村をみると、危険とみなされた場合の所有者に対する危険回避の指導が統一されていない。今後も先進市町村で発生した問題の対応策を調査研究し、今後の課題と考えている。

集団的自衛権について町長の考えは

服部 久子 議員



〈町長〉国民の合意が必要である

国が自治体に配慮しなければできない。

問 介護保険制度の改変による町の体制

答 制度改定は、要支援は保険から外され、介護度3以上でないの特養施設に入れない。町の負担が大きくなるが、どうか。

問 地域ニーズで保険者が判断できる。必要であれば入所可能となる。

問 制度改定で社協の仕事が増えるが、社協の状況が問題。町長の考えは。

答 心配していない。産業医から町長に文書が出された。内容は、10人の職員からの相談で、特定人物によるパワハラ、セクハラ、泥棒呼びわりなど職員の心身が傷ついたため、改善を求め第三者による委員会の設置を提言している。どう改善するか。

問 文書は、社協職員について町長宛なので社協会長に話すよう産業医に抗議した。町長として答える必要はない。



小島館の介護風景

問 社協に町から2千万円、町民、事業所からも資金が入っている公共的団体である。地方自治法は、自治体の長は指揮監督できるとある。

問 別組織。議会で答える必要がない。子ども・子育て支援新制度で保育園・児童センターはどうなるのか

問 認定こども園や地域型保育事業の必要性は。

答 認定こども園について保育園からの移行を検討し、地域型保育事業は必要な状況でない。学童保育の制度改正で、国の補助が受けられる。面積拡張と職員の待遇改善を図ってほしい。



新たな農業・農村政策の取組みと、進捗状況は

桜井 康人 議員

〈振興課長〉人農地プラン、町内農場化を視野に政策を生かし積極的に進める

問 新たな政策は四つの改革であり、農地中間管理機構についてポイント

は農地流動化を進める画期的手法として機構が農地集積の窓口となり、農地の集約化、規模拡大等地域の農地利用の最適化を目的としている。そこで事業推進のため今後のスケジュールと行政からの働きかけ、農業委員会の役割について聞きたい

答 市町村への一部業務委託が7月予定で、その後市町村段階での体制整備、受託業務の研修など業務開始準備をし、10月をめどに希望者、農地の受付を行う。機構への市町村の役割とし、業務委託が想定され密接な連携が不可欠。業務の受託先は農業再生協議会が対応することとなり、業務ボリュームムからして増員も

考える。人・農地プランを視野に農業委員会との連絡を密にノウハウを最大限生かしていく。

問 経営所得安定対策見直しをどう考えるか

答 米の直接支払い交付金が半額になり30年度から廃止となるが、新設の農地維持支払い制度等の取組みを進める。

問 水田フル活用と米政策の見直しについて、飼料用米、米粉用米のユーザー確保をどう進めるか

答 県、農協と協力し、実需者との長期契約確保要望に応える安定した数量の確保に取り組む。

問 多面的機能支払い制度について、農業関係者にとって身近で利用し易い政策であり、行政の指導で全農家が対象となる



田園風景

よう努力されたい。

問 事業内容決定まで時間がかかり問題が多い。全ての事業を町全域で実施するのは難しいが今後各地区に向いて取組むよう働きかけたい。又事業に関する助言、協力も全面的に行う。

答 スポーツ人口を増やし健康な町づくりの推進を

問 スポーツと健康、歩く・走る、1人1スポーツをどう進めるか

答 総合型地域スポーツクラブを中心に、地域に出向き、出前健康教室、講演会、実技講習会を含め、地域関係団体、福祉課、松本大学等連携し、町民の健康、スポーツでの地域起しを進める。



地域交流センター・図書館建設の進め方は

薄井 孝彦 議員

〈教育課長〉本年度は、建物の基本構想・基本計画を検討する

問 建設検討委員会の人数、ワークショップの進め方は。

答 基本構想・基本計画の原案策定はコンサルタントに依頼する。委員会は公募を含む20名程度で構成し、5回開催する。ワークショップは登録制とし、5回程度の夜間開催を考えている。議事録はニュースレターで知らせる。

27年度に基本設計・実施設計を行い、28年度に工事開始、29年度の完成で進める。

社会資本総合整備計画の年度ごとの事業のスケジ

問 コールと進め方は

答 8月に計画書を県に提出し、本要望を翌年1月頃行う。3月頃、国から内示があり、4月に交付申請を行う。交付決定を受け、6月頃から事業実施となる。

問 年度ごとの計画は町民に説明会を開き、意見を聞くべきでないか。

答 議会にはできるだけ早い段階で計画を示し、協議していく。

計画は既に認められているので、町民への説明会は考えていない。但し、計画はホームページで公表する。

問 公民館跡地ミニ公園整備事業は八幡神社と一体化とした公園としている。八幡神社の方を含めて検討すべきでないか。

答 貴重な意見として検討材料にする。

商業等活用エリア検討委員会の進め方は

問 旧アップルランド跡地での商業施設の早期再開に向け、定期的に検討委員会



ハーブセンター鑑賞園でのラベンダー摘み

の開催を。

問 出店者、金融機関の移転などを確認する。出店者が決まれば、蔵のレイアウトを検討し、用地取得後に、検討委員会を開きたい。

「花とハーブの里・池田町」の更なる取り組みは

答 現在、ある企業にハーブセンターの温室等の指導を打診中である。実現すれば、企業と前向きに検討したい。

問 町でのカミツレ生産増の取り組みを。

答 調査・研究していく。



樹種転換後の管理は

宮崎 康次 議員

〈振興課長〉森林経営計画に沿って行う

問 先人が一本一本何年もかけて植樹し、手入れをし、子孫に残してくれた財産である赤松が、見ても無残な姿となつてしまった。

松くい虫被害に対する伐倒駆除と、樹種転換をしてきたが、この状態ではない。転換後、5年間は森林組合で面倒を見る。その後は、その後の事であるが、その後が大事であり心配である。

答 池田町では昨年までに9地区において、地区森林整備協議会が発足した。国の補助事業で行うには、今後5年間の森林経営計画を森林所有者、若しくは委託を受けた事業者が立案し、町から認定を受けなければならない。森林の施業及び保護についての計画は5年を1期として作成する。森林経営計画

を立てれば森林組合が10年20年と山の手入れができると思う。

問 森林の里親制度で2社が係わっている。集中豪雨による河川の氾濫、土砂崩れ等を防ぐのも森林である。多くの企業に参加していただき、貢献してもらおう考えはあるか。

答 年間で10日間森林でボランティア活動を中心に池田町、広津、林務課、森林組合と交流を行っている。この制度は社会貢献に理解のある企業に委ねられている。今後とも制度の理解のある企業があれば誘っていく。

新しい図書館 最近図書館の新たな試みとして、読書通帳を導入され、読書意欲を高



樹種転換後手入れされている袖山

めている自治体がある。

当町も新しい図書館が建設されるので、ちょうど良い時期である。借りた本の履歴を「見える化」することで、子ども読書意欲を高めることとなる。導入を望む。

答 導入には専用の機械とソフトウェアが必要である。250万円以上の多額の費用が掛かる。「読書支援」のソフトウェアが開発されつつあるとも聞く。今後、交流センター建設時の検討材料とする。

賛成・反対討論

◎町営バス設置条例の一部を改正する条例

【賛成討論】薄井孝彦

今回の条例改正により、池田町から明科高校に通う1ヶ月(20回通学)の運賃は12,000円から定期券6,000円となり、利用者の経済負担の軽減が図られた。

また、町が陸運局と掛け合い、明科線の朝第2便は明科高校まで行き、池田町の最終便は明科高校から発車する改善措置がとられた。この措置により、池田町から明科高校に登下校する生徒の利便性の向上が図られた。

今回、親子さんからの要望に機敏に対応されたことを高く評価し、賛成討論とする。

◎26年度

一般会計補正予算

【賛成討論】矢口 稔

緊急防災減災事業

業債を活用した消防団車両8台及び可搬ポンプ5台が更新される。今回の導入により防災機能の向上が図られ、より一層消防団の活躍が期待される。安全な町づくりにつながる。地域おこし協力隊について、池田町に新しい風が入り大きな流れになる可能性があり期待する。以上、賛成討論とする。

◎子ども・障がい者等の医療費窓口無料化助成制度の創設などを求める意見書について(国に提出)

【反対討論】和澤 忠志

子どもを対象年齢など問題が多く、審議する時間が必要である。9月の定例会まで提出は見送つ



町営バスの乗り入れが決まった明科高校

の方がよい。今回の提出は反対である。

【賛成討論】服部 久子

総務福祉委員会にかけられた陳情は、県への陳情で、不採択になった主な理由は、窓口無料化にすると国の制裁で交付金が減額されるということであった。この意見書はその制裁をしないように国へ提出するもので賛成である。

傍聴記

山本久子



1日目の一般質問を傍聴しました。傍聴者は午前中は4名でしたが、午後は10名になりました。

一般質問内容は無線で放送し、新聞にも掲載されますが、議場まで足を運ぶ人たちが少ないのが現実です。

質問する議員の皆さんが「傍聴にきてください」と働きかけることも必要だと思えます。

聞いていて気になったことがあります。

社協職員の健康管理を受け持っている産業医から社協の会長である町長へ出された文書についての質問でした。

「特定の人物の言動により職員が心身の健康を損ねているので職場改善が必要。職員が安心して

相談できる外部の第三者による相談体制を構築するように」という内容に対して、どのように対応するか聞いていました。町長は「一般質問は町の行政事務に対して行うと決められており、社協の問題は答える必要がない。」としました。

社協は町が補助金を出し、町民からも寄付を集めて運営している組織であり、住民生活に深く関係があることなので、きちんとした答弁が欲しいと思いました。

もう一つ、気になったのは議長が質問者に「同一内容の質問が続いています。質問を変えて下さい。」と注意する場面が多いことでした。

もう少し論議を深めて欲しいところで注意が入るので、次の質問に移ってしまい、中途半端な論議になってしまいました。私の議員の時はそんな注意は受けなかったのかと疑問を覚えながら聞いていました。

池田町に越してきて



ランドル・みどりさん家族 (滝沢)

私は日本に来て最初は山口県に住んでいました。もう十三年以上も前のことです。私はそのエリアをとっても気に入っており、週末を美しい海岸でカヤックやロッククライミングをして過ごしていました。それはそれは素晴らしい経験でした。しかし、私の頭の中にはいつも、カナダに帰国することがありました。自分の仕事・社会科教師を、国に帰って続けようと思っていたのです。結局、半年ほどカナダに戻ってからの、再就職を決めたのは、山々に囲まれた大町の英会話教室でした。アウドアのライフスタイルを楽しむには最高の場所だと思い、暫くの間そこに落ち着くことになりました。

大町も素晴らしい場所でした。山、川、湖、私の楽しめる場所がすべて揃っていました。しかも、なぜだかHOMEとして感じられることはなかったのですが、結婚後も私たちはカナダに家を建てようと考えていました。

二人の仕事が池田町に決まり、越して、十年になります。ここに来て、この町は今まで住んでいた場所とは何かが違う、と感じるまで、さほど時間はかかりませんでした。この町で暮らしたい、そう思い始めました。そして息子が誕生し、私たちは確信を持って池田町を私たちのHOMEに選びました。

何が違うかを説明するのは難しいのですが、私たちが感じた気持ち他よりポジティブでした。池田町は魅了される景色や好ましい天気にも恵まれている美しい町です。しかし、町にはそれ以上のものがありました。人です。私たちが歓迎してくれているかのようでした。ソフトボールやバレーボールでは楽しい仲間ができました。観光協会が一生懸命に企画してくれるイベントにも、幸せな思い出があります。福祉センターの、通学路の、ご近所の、息子を見守ってくくださる暖かい笑顔も沢山あります。そしてマウンテンバイククラブを通して最高の仲間に出会えることができました。町やMTBクラブのサポートのおかげで池田はマウンテンバイクをするのに最高の場所になりました。私にとって世界で一番お気に入りの場所です。みなさんが私たちにしてくれたのと同様に、私も私の家族と一緒に、池田町がより良い町になるお手伝いをしたいです。ありがとうございます。池田町。(文・ランドル 翻訳&ちよびり付け加え・みどり)

編集後記

2月は大雪に見舞われ、5月には雹が降り、農業関係ほか住民生活に多大な影響を与えました。天候気候の異変を感じる近年であります。

町では久々の大型事業であります社会資本総合整備計画がいよいよ動き始めます。交流センター、図書館など具体的な設計の検討に入って参ります。町民の皆さんの意見を大いに取り入れ、行政、議会共々力を合わせ、将来に亘って喜ばれる事業になるよう願ってやみません。厳しい状況の中ではありますが、明るい希望を持って進んで参りましょう。

甕 聖章

議会報編集特別委員会

- 委員長 服部 久子
- 副委員長 和澤 忠志
- 委員 矢口 新平
- 委員 桜井 康人
- 委員 甕 聖章
- 委員 立野 泰